

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2026年3月期 通期決算

2026年5月11日



キッセイ薬品工業株式会社

目次

【決算短信「当期の経営成績の概況」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 連結貸借対照表の推移	P 4
III. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移	P 6
IV. 配当の推移	P 7
V. 主な医薬品の売上推移	P 8
VI. 新薬開発状況（自社）	P 9
VII. 新薬開発状況（導出）	P 9

注記

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2026年5月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【決算短信「当期の経営成績の概況」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、77,950百万円（前連結会計年度比3.5%増）となりました。過活動膀胱治療薬ベオーバ、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬タブネオス、透析患者におけるそう痒症治療薬コルスバ、持続性及び慢性免疫性血小板減少症治療薬タバリスの売上の伸長などにより、増収となりました。

当社が創製したリンザゴリクス（一般名、製品名：イセルティ/Yseltly）は、国内においては、2026年3月に子宮筋腫を適応症として新発売しました。また、海外においては、セラメックス社（英国）は、引き続き欧州各国他において発売あるいは発売準備を行い、シンモサバイオファーマ社（台湾）は、台湾において2026年3月に子宮筋腫を適応症として新発売するなど、技術導出したパートナーによる事業化が進み、輸出売上高は増加しています。

ライジェルファーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したホスタマチニブ（一般名、国内販売名：タバリス）は2025年7月に、本剤の韓国におけるサブライセンス先であるJWファーマシューティカル社（韓国）より新発売されました。

情報サービス事業の売上高は、文部科学省が推進するGIGAスクール政策に係る案件の受注により、14,237百万円（前連結会計年度比63.0%増）となりました。建設・施設メンテナンス事業の売上高は4,331百万円（前連結会計年度比26.1%増）、物品販売事業の売上高は886百万円（前連結会計年度比2.9%増）となりました。

・利益の状況

利益面では、増収を確保したものの、売上原価率の上昇、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加により、営業損失、経常損失となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上しています。

・研究開発の状況

ライジェルファーマシューティカルズ社から技術導入した急性骨髄性白血病治療薬オルタシデニブ（一般名）は承認申請準備中にあり、また創製品であるパーキンソン病治療薬Matsupexole（一般名、開発番号：KDT-3594）の国内後期第Ⅱ相臨床試験は、2026年3月に開鍵され、主要評価項目を達成しました。さらに、パセドウ病治療薬KSP-0914（開発番号）の国内第Ⅰ相臨床試験を2025年8月に開始したことに続き、2026年2月には過活動膀胱／間質性膀胱炎・膀胱痛症候群治療薬KSP-0576（開発番号）の国内第Ⅰ相臨床試験、2026年3月にはナルコレプシー治療薬KSP-0930（開発番号）の国内第Ⅰ相臨床試験をそれぞれ開始し、当連結会計年度においては3品目の創製品を臨床開発段階に進めました。

技術導入では、2025年7月に、ビリジアンセラピューティクス社（米国）との間で、甲状腺眼症治療薬Veligrotug（一般名）及びElegrobart（一般名、開発番号：VRDN-003）の日本における独占的な開発権及び販売権の取得に関する契約を締結しました。

技術導出では、リンザゴリクスについて、2025年10月にサーチライトファーマ社（カナダ）に、カナダにおける独占的な開発権及び販売権を許諾しました。また、JWファーマシューティカル社は、韓国において子宮筋腫を適応症とした第Ⅲ相臨床試験を実施しています。なお、オルタシデニブについて、2026年5月にオリエンテューロファーマ社（台湾）に、台湾における開発権及び販売権を許諾しました。

また、当社は2025年4月に、多くのライフサイエンス領域の企業、研究機関が集積する米国マサチューセッツ州ボストンエリアに、創薬研究のオープンイノベーション拠点として、米国子会社KISSEI AMERICA, INC.（本社：ニュージャージー州フォートリー）の新オフィス「Boston Open Innovation Office」を開設しました。

・個別製品の状況

タブネオスについて、米国食品医薬品局（FDA）の医薬品評価研究センター（CDER）は2026年4月27日に、新たに得られた情報により、有効性が示されていないこと、承認申請書類には重要な事実と反した記載が含まれていたことが明らかになったとして、米国における承認の撤回を提案する旨を公表しました。また、欧州医薬品庁（EMA）は2026年1月30日に、国際共同第Ⅲ相臨床試験データの整合性に疑義が生じたため、EMAの欧州医薬品委員会（CHMP）によるレビューを開始したことを公表しています。当社は、FDAとEMAの審査状況を医薬品医療機器総合機構（PMDA）に報告し、疑義照会に対応しています。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	決算期 2025年 3月期	2026年3月期			2027年3月期予想		
		予想	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
売上高	88,330	95,500	97,406	10.3%	95,700	△1.8%	48,000
医薬品事業	75,299	78,000	77,950	3.5%	82,000	5.2%	40,700
国内医薬品	63,975	67,200	67,764	5.9%	71,900	6.1%	35,200
医薬品	59,108	62,100	62,540	5.8%	66,400	6.2%	32,800
その他*1	4,866	5,100	5,223	7.4%	5,500	5.3%	2,400
海外ライセンス	7,770	7,200	6,691	△13.9%	6,400	△4.4%	3,700
技術料*2	2,209	900	865	△60.8%	600	△30.7%	500
輸出	5,561	6,300	5,826	4.8%	5,800	△0.5%	3,200
ヘルスクエア食品	3,553	3,600	3,494	△1.7%	3,700	5.9%	1,800
情報サービス事業	8,735	12,600	14,237	63.0%	10,500	△26.3%	5,500
建設・施設メンテナンス事業	3,435	4,000	4,331	26.1%	2,400	△44.6%	1,300
物品販売事業	860	900	886	2.9%	800	△9.7%	500
売上原価	44,265	49,700	51,587	16.5%	48,700	△5.6%	24,700
(原価率%)	(50.1)	(52.0)	(53.0)		(50.9)		(51.5)
売上総利益	44,065	45,800	45,818	4.0%	47,000	2.6%	23,300
販売費及び一般管理費	38,291	48,400	48,745	27.3%	42,600	△12.6%	21,400
研究開発費	12,889	23,000	22,521	74.7%	16,500	△26.7%	8,200
(売上高比%)	(14.6)	(24.1)	(23.1)		(17.2)		(17.1)
営業利益又は営業損失(△)	5,773	△2,600	△2,927	—	4,400	—	1,900
営業外収益	1,542	1,800	2,268	47.1%	1,700	△25.1%	950
受取利息及び配当金	1,450		1,743	20.2%			
その他の収益	92		525	466.8%			
営業外費用	341	300	504	47.5%	100	△80.2%	50
支払利息	21		28	32.3%			
その他の費用	319		475	48.5%			
経常利益又は経常損失(△)	6,974	△1,100	△1,162	—	6,000	—	2,800
特別利益	12,033	18,600	18,248	51.6%	14,000	△23.3%	8,500
特別損失	3,398	300	195	△94.3%	—	—	—
税金等調整前当期純利益	15,610	17,200	16,891	8.2%	20,000	18.4%	11,300
法人税、住民税及び事業税	2,918	6,500	6,208	112.7%	5,000	△19.5%	2,600
法人税等調整額	716	△2,200	△3,278	—	400	—	650
非支配株主に帰属する 当期純利益	14	200	181	—	100	△44.9%	50
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,961	12,700	13,779	15.2%	14,500	5.2%	8,000

(包括利益)

(△1,914)

(31,399)

(—)

*1：国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

*2：ライセンスアウトに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティの合計額

売上高	<p>実績： 医薬品事業：3.5%増収 国内医薬品ではペオーバに加え、タブネオス、コルスバ、及びタバリスの伸長などにより増収。また、海外ライセンス収入は、輸出売上は増収、技術料売上は前期の反動により減収。</p> <p>その他の事業：49.3%増収 情報サービス事業がGIGAスクール政策に係る案件の受注により63.0%増収、建設・施設メンテナンス事業が26.1%増収、物品販売事業が2.9%増収。</p> <p>予想： 医薬品事業：5.2%増収 国内医薬品では、新発売したイセルティに加え、引き続きペオーバ、タブネオス、コルスバ、及びタバリスの育成などにより、増収の見込み。 海外ライセンス収入は、輸出売上、技術料売上がともに減少。ヘルスケア食品は増収の見込み。</p> <p>その他の事業：29.6%減収 情報サービス事業、建設・施設メンテナンス事業、物品販売事業の全ての事業において減収の見込み。</p>
売上原価	<p>実績：売上原価率は2.9ポイント上昇 医薬品事業の売上原価率は、技術料売上の減少により上昇。その他の事業は売上構成の変化などにより上昇。</p> <p>予想：売上原価率は2.1ポイント改善 医薬品事業の売上原価率は薬価改定の影響があるものの、製品構成の変化などにより改善を見込む。その他の事業は売上構成の変化などにより改善を見込む。</p>
販売費及び一般管理費	<p>実績：前期比27.3%増加 主として、技術導入に係る研究開発費による増加。</p> <p>予想：前期比12.6%減少 前期からの反動により、研究開発費が減少の見込み。販売費の増加は、イセルティの市場導入費の計上を見込み、一般管理費の増加は、DX関連経費の計上を見込む。</p>
営業外損益	<p>実績：為替差損の増加の一方で、有価証券評価益が増加。</p> <p>予想：特別なものは見込んでいない。</p>
特別損益	<p>実績：投資有価証券売却益、東京本社集約に伴う固定資産売却益などが増加。 特別損失は、前期計上した減損損失の反動で減少。</p> <p>予想：投資有価証券売却益の計上を見込む。</p>

【その他項目（連結）】

(百万円)

項目	決算期 2025年 3月期	2026年3月期			2027年3月期予想		
		予想	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
減価償却費	4,615	4,800	4,644	0.6%	4,600	△0.9%	2,200
設備投資額	4,705	5,200	5,699	21.1%	4,400	△22.8%	1,900
主要内容	生産設備等 1,904 その他 2,801	生産設備等 3,200 その他 2,000	生産設備等 3,051 その他 2,647		生産設備等 1,000 その他 3,400		生産設備等 300 その他 1,600
期末従業員数(人)	1,778	-	1,786	8	-	-	-

Ⅱ. 連結貸借対照表の推移

(百万円)

項目		決算期	2025年 3月期	2026年 3月期	増減
資 産	流動資産		106,980	114,969	7,989
	現金及び預金		25,169	29,057	3,888
	受取手形、売掛金及び契約資産		29,654	31,583	1,929
	特定金銭信託及び有価証券		25,286	27,564	2,277
	棚卸資産		24,980	25,522	542
	その他の流動資産		1,889	1,241	△647
	固定資産		137,079	160,117	23,037
	有形固定資産		27,069	28,093	1,023
	無形固定資産		1,894	1,969	74
	投資その他の資産		108,115	130,055	21,939
	投資有価証券		84,869	104,271	19,401
	長期前払費用		12,708	10,814	△1,894
	退職給付に係る資産		8,804	13,287	4,483
	繰延税金資産		566	538	△27
	その他の投資等		1,184	1,161	△23
	貸倒引当金		△18	△18	-
資産合計			244,059	275,086	31,026

現金及び預金	・主として、利益による増加
受取手形、売掛金及び契約資産	・主として、売掛金の増加
棚卸資産	・情報サービス事業における仕掛品の増加
有形固定資産	・医薬品事業における新工場建設による建物及び構築物並びに生産設備の増加
投資有価証券	・売却による減少の一方で、時価評価による含み益が増加
長期前払費用	・減価償却による減少

(百万円)

項目		決算期	2025年 3月期	2026年 3月期	増減
負 債	負債合計		33,933	43,550	9,617
	流動負債		16,578	21,688	5,109
	支払手形及び買掛金		4,602	6,661	2,059
	短期借入金		1,280	1,250	△30
	未払法人税等		1,474	5,006	3,532
	契約負債		1,033	846	△186
	その他の流動負債		8,189	7,922	△266
	固定負債		17,354	21,862	4,508
	繰延税金負債		16,481	21,029	4,548
	その他の固定負債		873	833	△39
純 資 産	純資産合計		210,126	231,536	21,409
	株主資本		165,550	169,339	3,789
	資本金		24,356	24,356	-
	資本剰余金		24,226	24,243	17
	利益剰余金		131,488	136,253	4,764
	自己株式		△14,520	△15,513	△992
	その他の包括利益累計額		43,453	60,806	17,352
	非支配株主持分		1,122	1,390	267
負債及び純資産合計			244,059	275,086	31,026

支払手形及び買掛金	・医薬品事業及び情報サービス事業における増加
未払法人税等	・所得増に伴う増加
繰延税金負債	・投資有価証券の含み益増加に伴う増加
利益剰余金	・期中配当金支払いによる4,841百万円の減少、自己株式の消却による4,173百万円の減少、親会社株主に帰属する当期純利益による13,779百万円の増加
その他の包括利益累計額	・その他有価証券評価差額金の増加、退職給付に係る調整累計額の増加

Ⅲ. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移

(百万円)

項目	決算期	2025年 3月期	2026年 3月期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,521	△1,485	△8,006
投資活動によるキャッシュ・フロー		4,952	17,500	12,548
財務活動によるキャッシュ・フロー		△9,325	△10,255	△929
現金及び現金同等物に係る換算差額		27	52	25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		2,175	5,812	3,637
現金及び現金同等物の期首残高		45,887	48,158	2,271
現金及び現金同等物の期末残高		48,158	53,971	5,812

主な増減要因（前期比）

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、当連結会計年度において1,485百万円の支出となりました。仕入債務の増加などの一方で、売上債権及び契約資産の増加などがありました。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により得られた資金は、製造設備建設に伴う有形固定資産の取得などの一方で、東京本社集約に伴う土地の売却、投資有価証券の売却などによる収入が増加したことにより、前連結会計年度に比べ12,548百万円増の17,500百万円となりました。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより、前連結会計年度に比べ929百万円支出増の10,255百万円となりました。

IV. 配当の推移

(円)

項目 \ 決算期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期予想
中間配当	41	45	60	105
期末配当	41	55	100	65
年間配当(合計)	82	100	160	170

2026年3月期の期末配当金及び2027年3月期(予想)の中間配当金には、創立80周年記念配当40円をそれぞれ含んでいます。

(%)

配当性向	33.3	36.5	48.3	47.7
------	------	------	------	------

(参考)

(百万円)

自己株式の取得 (取得株式数)	6,000 (1,910千株)	5,292 (1,400千株)	5,216 (1,369千株)	6,000 (1,300千株)
自己株式の消却 (消却株式数)	5,704 (2,500千株)	3,981 (1,400千株)	4,173 (1,369千株)	4,300 (1,300千株)

(%)

総還元性向	86.8	80.6	86.0	89.0
-------	------	------	------	------

V. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 2025年 3月期実績	2026年3月期			2027年3月期予想		
		予想	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
過活動膀胱治療薬 ハオーバ	18,662	21,000	21,547	15.5%	23,400	8.6%	11,500
MPA ^{*1} 、GPA ^{*2} 治療薬 タブネオス	8,989	11,800	11,524	28.2%	12,700	10.2%	6,200
透析そ痒症治療薬 コルスバ	5,284	8,000	8,072	52.8%	9,700	20.2%	4,700
持続性及び慢性ITP ^{*3} タバリス	2,190	3,700	3,739	70.7%	4,800	28.4%	2,300
高リン血症治療薬 ビートル	4,442	4,000	3,996	△10.0%	3,800	△4.9%	2,000
腎性貧血治療薬 ダルベポエチン アルファBS注JCR	3,792	3,500	3,574	△5.7%	3,250	△9.1%	1,550
糖尿病治療薬 グルベス、グルファスト	3,209	2,800	2,645	△17.6%	2,100	△20.6%	1,100
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	1,771	1,500	1,388	△21.6%	1,350	△2.7%	750
子宮筋腫治療薬 イセルティ	—	—	70	—	600	757.1%	200

*1：顕微鏡的多発血管炎

*2：多発血管炎性肉芽腫症

*3：免疫性血小板減少症

Ⅲ. 新薬開発状況（自社）

（2026年5月現在）

製品名 ／一般名 ／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分等
オルタシデニブ	再発／難治性 急性骨髄性白血病	IDH1阻害作用	申請準備中	導入品／ライジェル(米国)
イセルティ ／リンザゴリクス	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	第Ⅲ相	創製品
Crestestimogene grenadenorepvec ／CG0070	高リスク患者における 筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー(米国)
ロバチレリン ／KPS-0373	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン (TRH)作用	第Ⅲ相	導入品／塩野義製薬
Matsupexole ／KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
KSP-0914	バセドウ病	甲状腺刺激ホルモン(TSH)受容体 阻害作用	第Ⅰ相	創製品
KSP-0576	過活動膀胱 ／間質性膀胱炎・膀胱痛症候群	TRPM8阻害作用	第Ⅰ相	創製品
KSP-0930	ナルコレプシー	オレキシン2(OX2)受容体刺激作用	第Ⅰ相	創製品

※ 前回公表時（2026年1月）からの変更点
 イセルティ（子宮筋腫） 発売準備中 → 2026年3月19日新発売（削除）
 オルタシデニブ 第Ⅰ相 → 申請準備中
 KSP-0576 第Ⅰ相（新規記載）
 KSP-0930 第Ⅰ相（新規記載）

Ⅳ. 新薬開発状況（導出）

（2026年5月現在）

一般名	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (Linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	3カ国*	セラメックス(英国)	承認申請中
			韓国	JWファーマ(韓国)	第Ⅲ相
	子宮内膜症		台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	承認申請中
	3カ国*		セラメックス(英国)	承認申請中	
シロドシン (Silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用	ベトナム	エーザイ(日本)	承認申請中

* ブラジル、南アフリカ共和国、メキシコ

※ 前回公表時（2026年1月）からの変更点
 リンザゴリクス（子宮筋腫・台湾） 発売準備中 → 発売（削除）